



# MS313-48011/12 リヤバンパースポイラー

取付・取扱要領書

この度はTRDリヤバンパースポイラーをお買い上げ頂き誠に有難うございます。  
本書は上記TRDリヤバンパースポイラーの取付け、取扱いについての要領と注意を記載してあります。  
取付け前に必ずお読み頂き、正しい取付け、取扱いを実施してください。  
なお、本書の取扱い上のご注意（ご使用になるお客様へ）は必ずお客様にお渡しください。

● 本商品は未登録車への取付けは出来ません、取付けは車両登録後に行ってください。

## ■ 品番・適合車種

品番	塗装色	備考
MS313-48011-A0	ホワイトパールクリスタルシャイン (070)	ハリアー '17/06~
MS313-48011-C0	ブラック (202)	
MS313-48011-C1	スパークリングブラックパールクリスタルシャイン (220)	
MS313-48012-NP	未塗装品 (プライマー処理品)	

・最新の適合情報は TRD カタログサイトをご覧ください。 <http://www.trdparts.jp/>

## ■ 構成部品

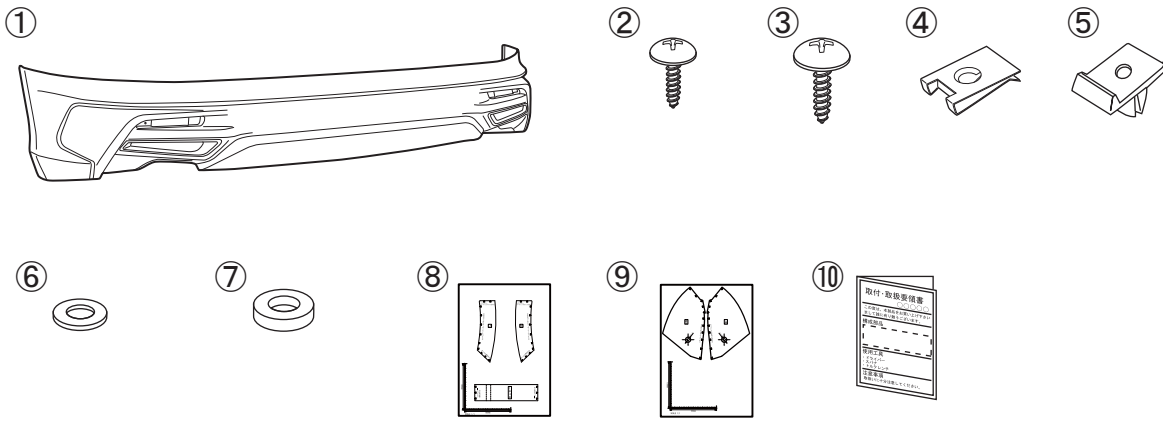
No.	品名	個数	備考
①	リヤバンパースポイラー	1	
②	タッピングスクリューA	4	M4×14
③	タッピングスクリューB	2	M6×16
④	スピードナット	4	
⑤	グロメット	2	
⑥	樹脂ワッシャー	2	
⑦	クッションワッシャー	4	
⑧	型紙A、B	1	
⑨	型紙C	1	
⑩	取付・取扱要領書	1	本書

以下、MS313-18012-NP（未塗装品セット）のみに同梱

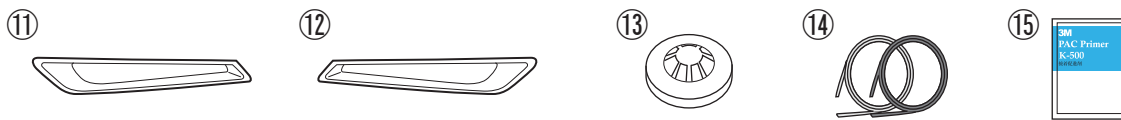
No.	品名	個数	備考
⑪	メッキガーニッシュ RH	1	
⑫	メッキガーニッシュ LH	1	
⑬	プッシュナット	4	
⑭	モール	各1	黒 / ライトグレー
⑮	PACプライマー	1	K-500

※確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。

■ 構成部品図



以下、MS313-48012-NP（未塗装品セット）のみに同梱



モール⑭推奨使用色

塗装色（色記号）	モール色
ホワイトパールクリスタルシャイン（070）	ライトグレー
ブラック（202）	ブラック
スパークリングブラックパールクリスタルシャイン（220）	ブラック
シルバーメタリック（1F7）	ライトグレー
ダークブルーマイカメタリック（8W7）	ブラック
ダークレッドマイカメタリック（3Q3）	ブラック

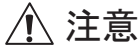
# 取付け上のご注意（取付け作業の方へ）

作業を行なう前に必ずお読みになり、安全で確実な取付け作業を行ってください。



## 警告

この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行うと生命の危険または、重傷等を負う可能性がある内容について記載しています。



## 注意

注意事項を守らないで、誤った取付け・取扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等の恐れがある事を記載しています。



## アドバイス

スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

### ⊘ やってはいけないこと

### ❗ 必ず行っていただくこと



## 警告

- ⊘ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故を招く恐れがありますので絶対に行わないでください。
- ❗ 本商品の取付け・交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。
- ❗ 取付け作業は規定トルクに従って、確実に締め付けてください。締め付けが足りないと脱落などにより重大な事故や故障を招く恐れがあります。



## 注意

- ❗ 本商品を取付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合がないことを確認してください。取付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。
- ❗ 本商品の取付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取扱いを行ない、同時に取付け部位を保護材にて養生した上で作業を行ってください。取付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

## 脱脂作業について（別紙の脱脂作業要領も参考にしてください。）

- ❗ 脱脂作業を行う際は、清潔なウエスを使用して、ホワイトガソリン、イソプロピルアルコール(IPA)または、「(株)タクティータ取扱いのシリコンオフ」を使用して確実な脱脂を行なってください。指定以外のシリコンオフは使用しないでください。
- ❗ 脱脂作業にボディコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂出来ず浮き、剥がれの原因となります。

## 両面テープについて

- ❗ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。
- ❗ 両面テープは一度貼り付けてから剥がしますと、接着力は低下しますので再貼り付けはできません。
- ❗ 本商品の両面テープは、環境温度が20℃以下の低温時には接着能力が著しく低下します。温度が足りないと両面テープが剥がれます。
- ❗ 両面テープの圧着は49N (5Kgf)以上(車両が軽く揺れる程度)で確実に行ってください。圧着が足りないと両面テープが剥がれます。
- ⊘ 本商品の取付け24時間は、洗車や水(水拭き含む)・雨などが、かからないようにしてください。装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

## 取付けが終わったら

- ❗ 取付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
- ❗ 作業にバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。



## 注意

トヨタ純正LEDリヤフォグランプ装着車両に本製品を取付ける場合は、本製品の取付け前にTRDリヤフォグガーニッシュ（MS313-48013/14）付属の取付・取扱要領書を参照してください。

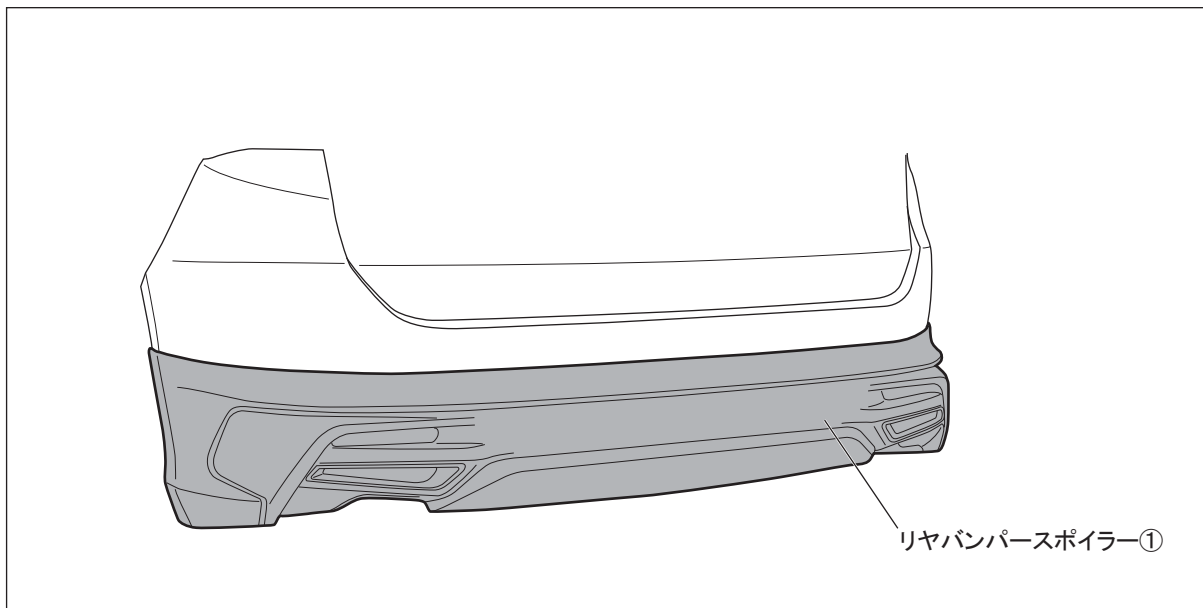
### ■ 目次

1. 表紙、適合表、構成部品表、構成部品図 . . . . . 1～2
2. 取付け・取扱いご注意（作業者様へ） . . . . . 3
3. 目次、取付けに必要な工具・保護具・消耗品、取付構成図 . . . . . 4
4. 取付け要領 . . . . . 5～14
5. 取付け後の確認・点検 . . . . . 14

### ■ 取付けに必要な工具・保護具・消耗品

- ・加工用工具（ハサミ・カッター等）・ヤスリ・プラスドライバー・クリップリムーバー
- ・電動ドリル（刃：2.0mm/5.0mm/7.0mm/11.0mm）・保護メガネ
- ・軍手・保護シート・保護テープ・マスキングテープ
- ・ホワイトガソリン又はイソプロピルアルコール（IPA）・清潔なウエス

### ■ 取付構想図



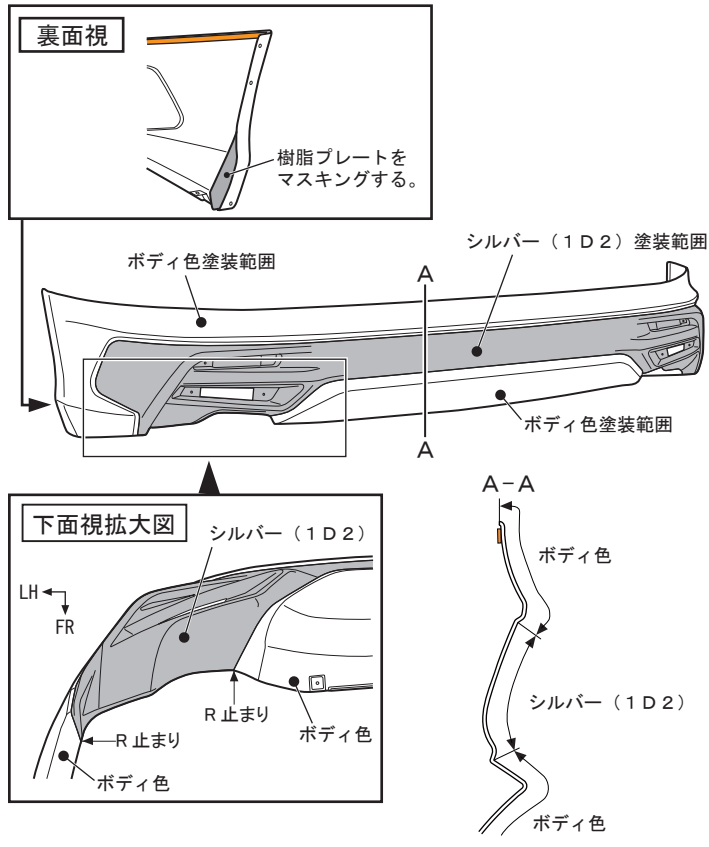
## 【塗装済み品の取付けは、7ページに進み作業を行なってください。】

### ■未塗装品の取扱いについて

下記は未塗装品（MS313-48012-NP）の塗装前、塗装後の作業を記載しています。下記要領に従い作業を行ってください。

図1

塗り分け推奨色：シルバー（1D2）



※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

### □リヤバンパースポイラーの塗装

1. 図1のようにリヤバンパースポイラー①を塗装する。

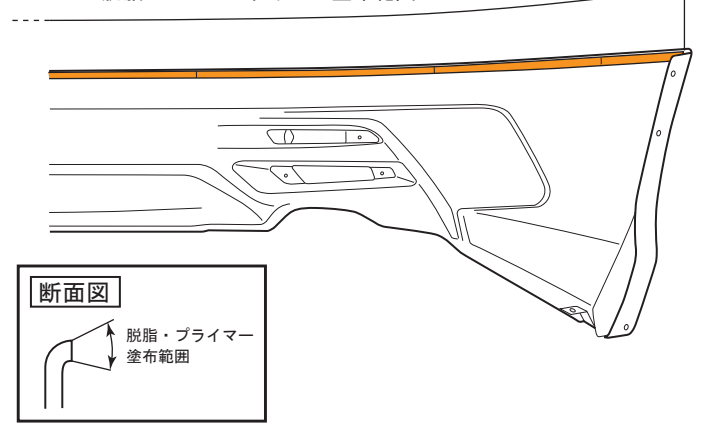
△注意：乾燥温度を70℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意してください。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定してください。

△警告：両面テープには、絶対に塗装しないでください。接着力が低下します。マスキングテープを貼るなどして、対応してください。

△注意：脱脂をする場合は、イソプロピルアルコール（以下IPAという）又はホワイトガソリンを使用し、シリコンオフおよびシンナーは使用しないでください。プライマーが溶ける恐れがあります。

図2 裏面視

脱脂・PACプライマー塗布範囲



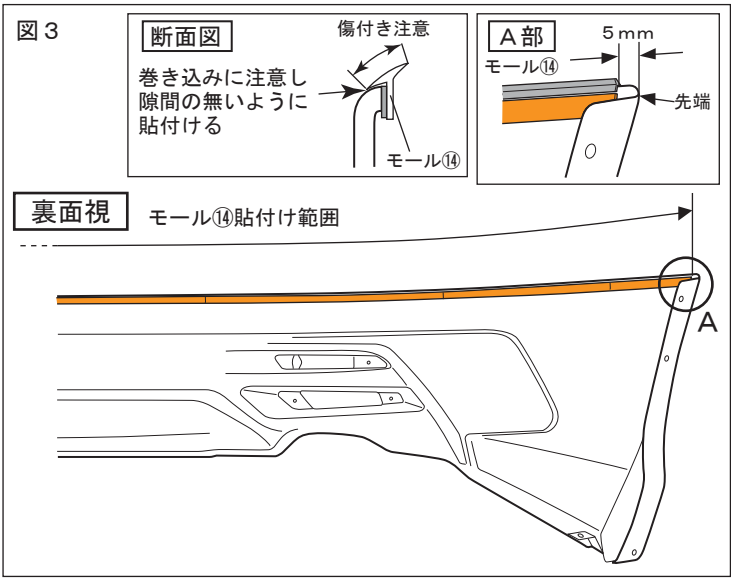
### □モールの貼付け

1. 図2のようにモール貼付け部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方に拭いて脱脂し、モール貼付け部のみPACプライマーK-500⑮を塗布する。

△注意：プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにホワイトガソリンやIPA等で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

👉アドバイス：脱脂作業を行う際は、換気に注意して、火気を近づけないよう注意してください。

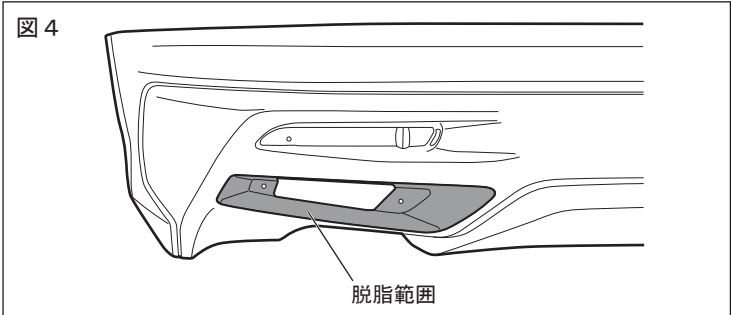
△注意：PACプライマーK-500⑮は、メッキパーツおよびリヤバンパースポイラー取付けの際も使用するため、乾燥しないように保管してください。



2. 図3のようにリアバンパースポイラー①にモールド⑭の両面テープの離型紙を剥がしながら、貼付け圧着する。モールドは長めに設定されているので、長さを合わせてハサミ等で切り落とす。

△注意:モールド⑭は、二色同梱されています。塗装色に合わせてモールド色を選択し貼付けてください。

△注意:両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に温めてください。

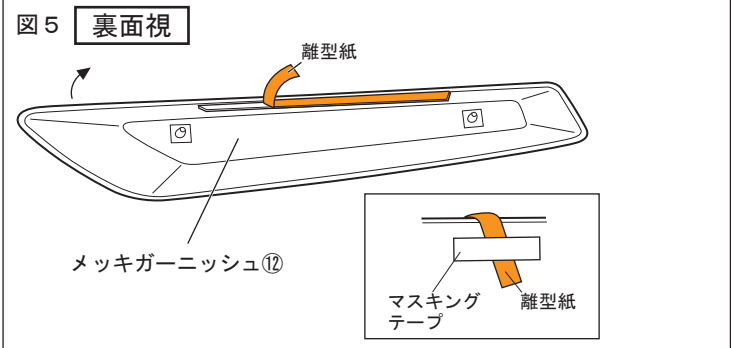


□メッキガーニッシュの貼付け

1. 図4のようにメッキガーニッシュ⑫貼付け部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方向に拭いて脱脂する。

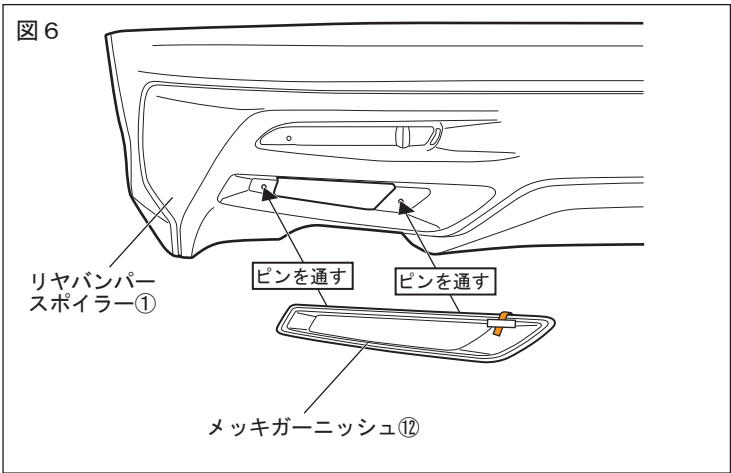
△注意:脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

👉アドバイス:脱脂後は、十分に乾燥させてください。

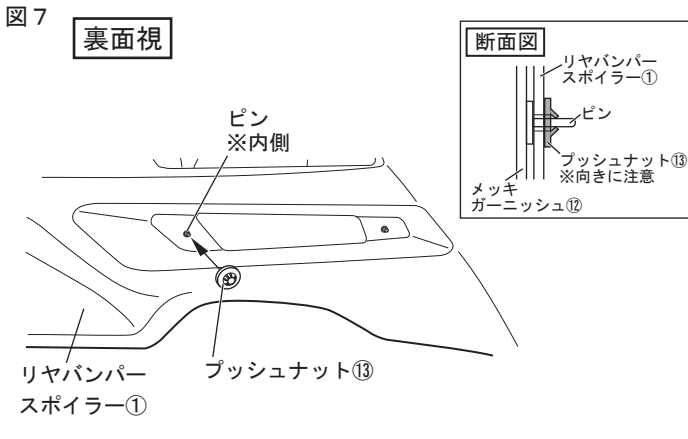


2. 図5のようにメッキガーニッシュ⑫の両面テープの離型紙を約30mm剥がし、マスキングテープ等で表側に貼付ける。(左右各1箇所)

△注意:両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に温めてください。

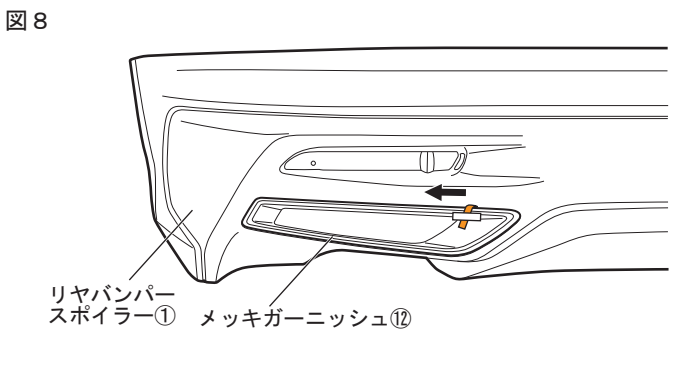


3. 図6のようにメッキガーニッシュ⑫裏側のピンをリアバンパースポイラー①の穴に通してかぶせる。



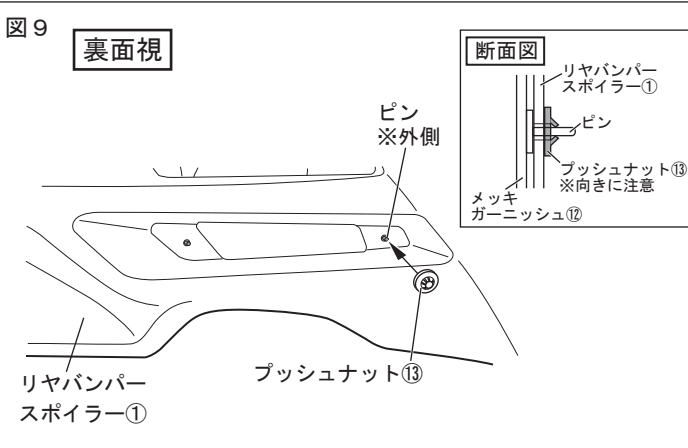
4. 図7のようにメッキガーニッシュ⑫内側のピンにプッシュナット⑬を取り付ける。

👉 アドバイス：8mm以下のソケットを使用して押し込むと確実に装着できます。



5. 図8のようにメッキガーニッシュ⑫の両面テープの離型紙を矢印の方向へ剥がしながら貼付け圧着する。

⚠ 注意：両面テープの離型紙を指示した方向に剥がさなかった場合、隙が発生する恐れがあります。



6. 図9のようにメッキガーニッシュ⑫外側のピンにプッシュナット⑬を取り付ける。

👉 アドバイス：8mm以下のソケットを使用して押し込むと確実に装着できます。

👉 アドバイス 両面テープの接着力は安定するまで3～5時間程度必要です。製品の取付け後は、最低3時間程度、強い振動や風圧（車両の移動を含む）が、掛からないようにオープンタイム（静止時間）お取りください。

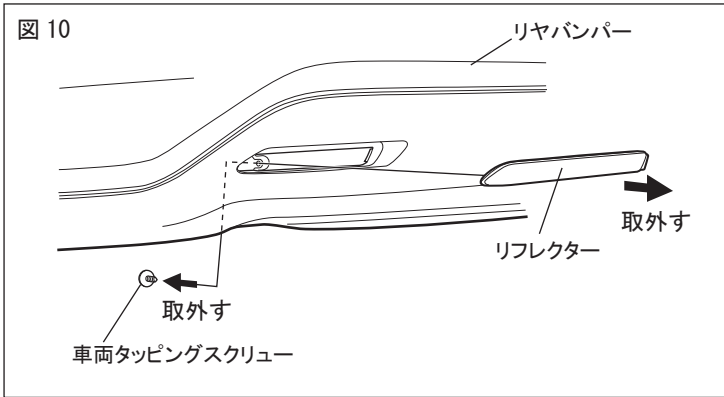
⚠ 警告 両面テープは十分に圧着してください。圧着が不十分な場合、浮き・剥がれ等の症状が発生し脱落などの重大な不具合が発生する可能性があります。両面テープ接着後、24時間以内は雨・洗車等で接着部に水が掛からないようにしてください。接着力が低下し、剥がれ・脱落等が発生する可能性があります。

※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

### □リヤバンパースポイラー取付準備

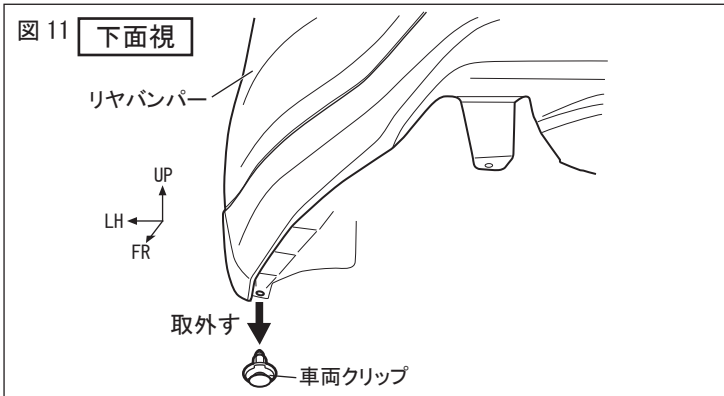
1. 車両修理書に従い、リヤバンパーから左右のリフレクターを取り外す。(左右各1箇所)

△注意：取り外したリフレクター及び車両タッピングスクリューは再使用する為、紛失や破損に注意してください。



2. 図11のようにリヤバンパー前方下面の車両クリップを取り外す。(左右各1箇所)

△注意：取り外した車両クリップは再使用する為、紛失や破損に注意してください。



3. 図12のようにリヤバンパー後面に型紙A⑧、リヤバンパー左右側面に型紙B⑧を貼付ける。

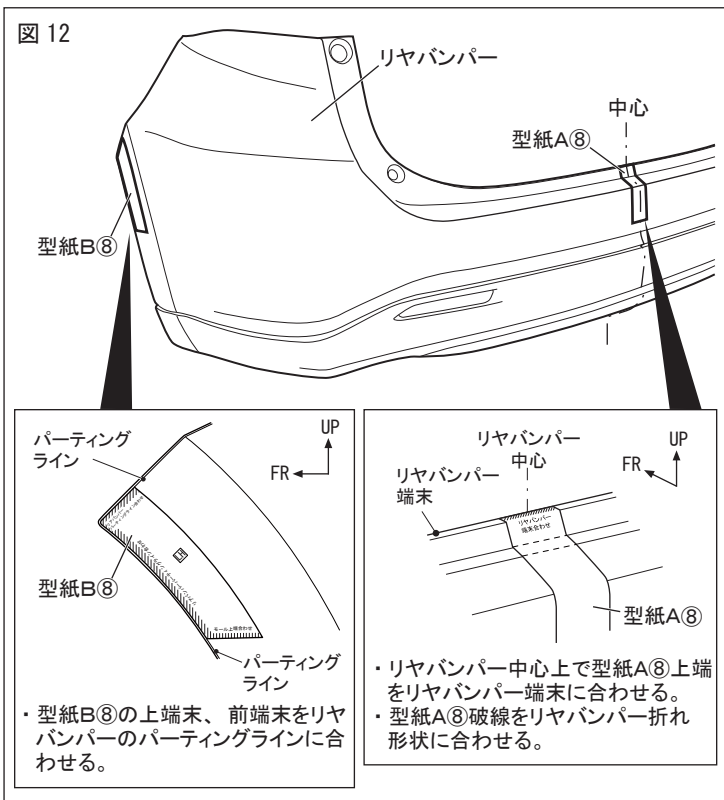
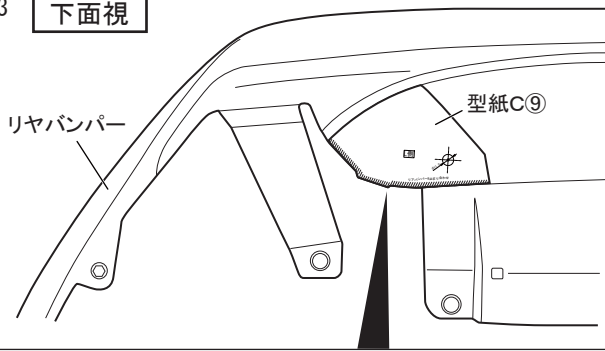
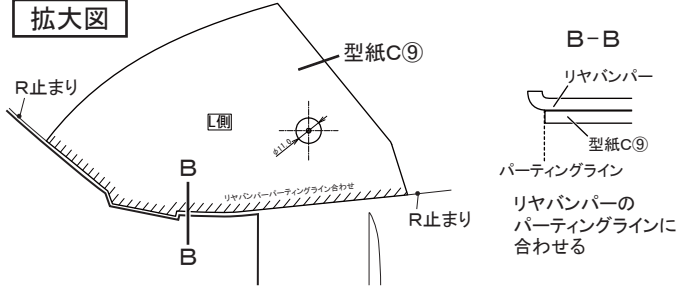




図 13 下面視

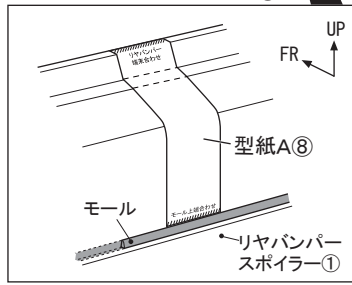
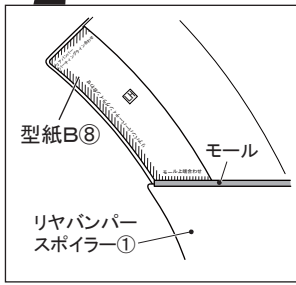
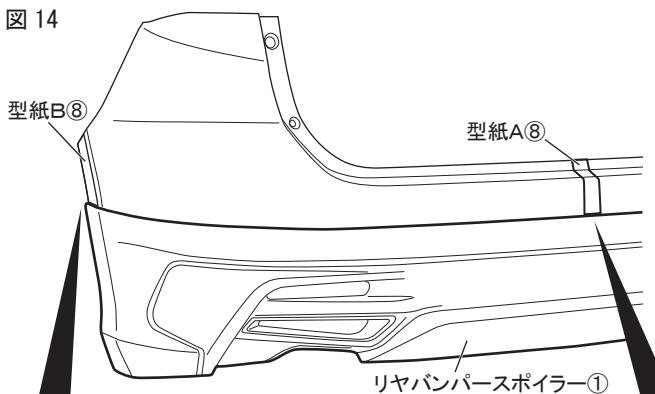


拡大図



4. 図 13 のようにリアバンパー下面に型紙C9を貼付ける。(左右2箇所)

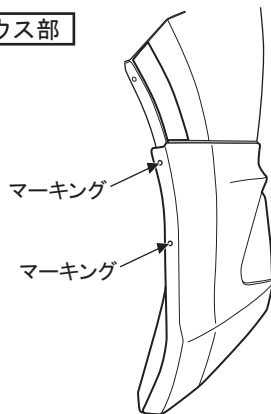
図 14



5. 図 14 のように型紙A、B⑧の取り付け高さ位置に合わせてリアバンパースポイラー①のモール上端を合わせ、リアバンパーに仮当てする。

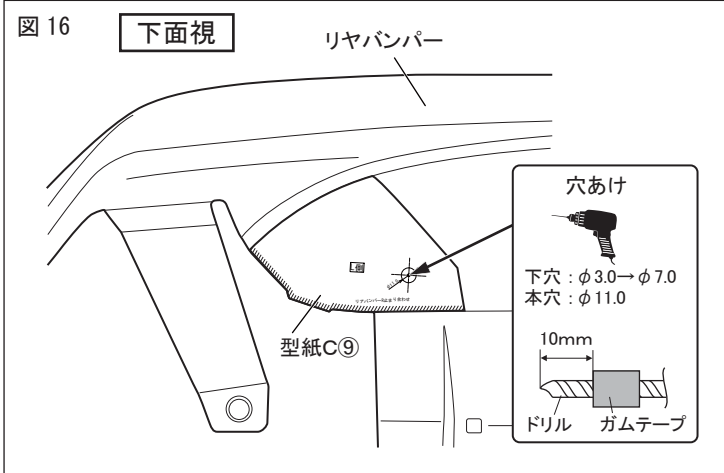
図 15

ホイールハウス部



6. 図 15 のようにリアバンパースポイラー①のホイールハウス部の穴に合わせ、リアバンパーに穴あけ位置をマーキングする。(左右各2箇所)

7. リアバンパースポイラー①を取り外す。



8. 図 16 のようにドリルにストッパーになるようにガムテープを巻き、型紙C⑨の穴あけ位置に合わせて下穴をφ3.0→φ7.0であけ、φ11の本穴をあける。(左右各1箇所)

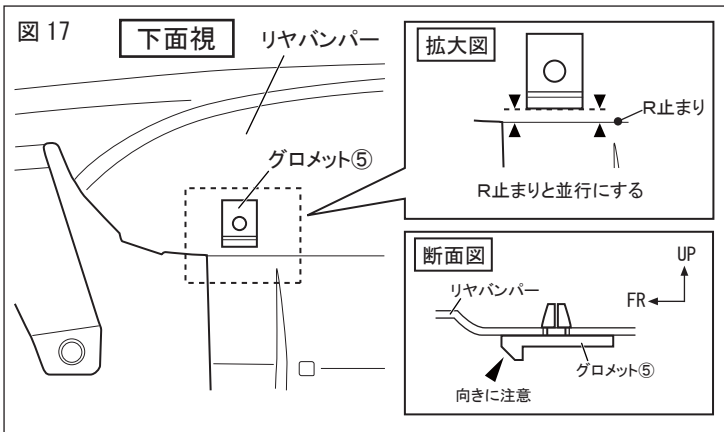
**👉 アドバイス:** 穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。

**⚠️ 注意:** 作業時は保護メガネを着用してください。

9. 穴周囲のバリを除去する。

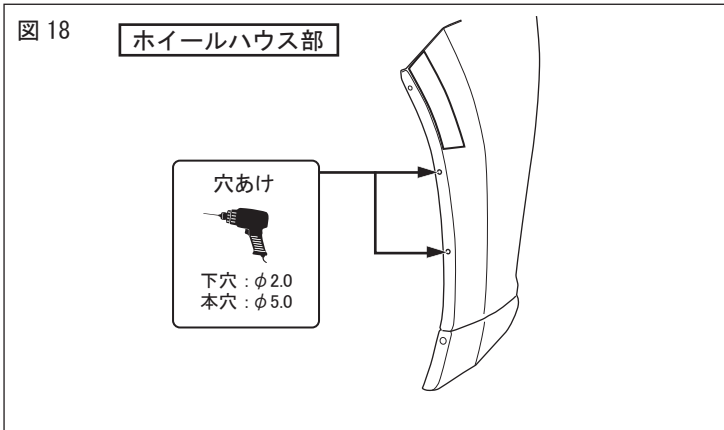
**⚠️ 注意:** バリを取り除く時には、穴径が大きくなるように注意してヤスリ等で取り除いてください。

10. 型紙C⑨を剥がす。(左右各1箇所)



11. 図 17 のように 8. であけた穴にグロメット⑤を取り付ける。(左右各1箇所)

**⚠️ 注意:** グロメット⑤は、取付け方向を誤るとスポイラーが正確な位置に取付け出来なくなるおそれがあります。



12. 図 18 のようにリヤバンパーホイールハウスのマーキングに合わせて下穴をφ2.0であけ、φ5.0の本穴をあける。(左右各2箇所)

**👉 アドバイス:** 穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。

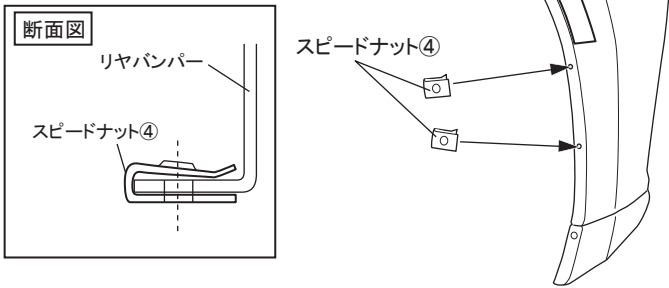
**⚠️ 注意:** 作業時は保護メガネを着用してください。

13. 穴周囲のバリを除去する。

**⚠️ 注意:** バリを取り除く時には、穴径が大きくなるように注意してヤスリ等で取り除いてください。

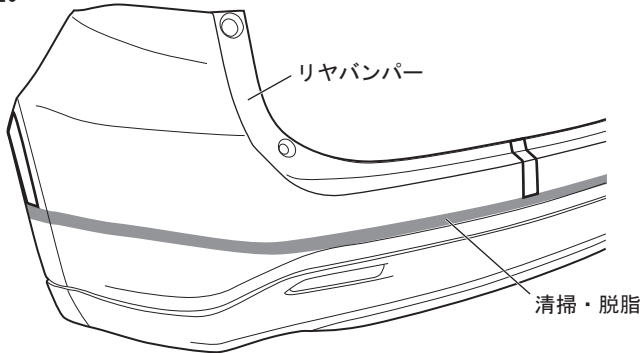
図 19

## ホイールハウス部



14. 図 19 のように 12. であけた穴にスピードナット④を取り付ける。(左右各2箇所)

図 20



15. 図 20 のようにリアバンパースポイラー①取り付け部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方方向に拭いて脱脂する。

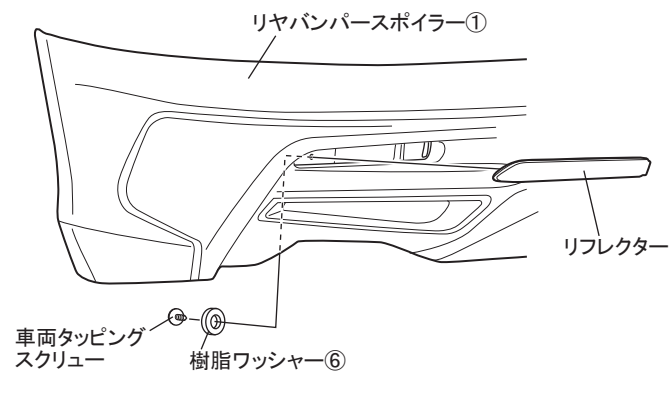
⚠ 注意：ボディコーティングが施されている場合は、塗装にキズをつけないよう、コンパウンド等で除去した上で、必ず脱脂を行なってください。

🔥 アドバイス：脱脂作業を行う際は、換気に注意して、火気を近づけないよう注意してください。

## ⚠ 警告

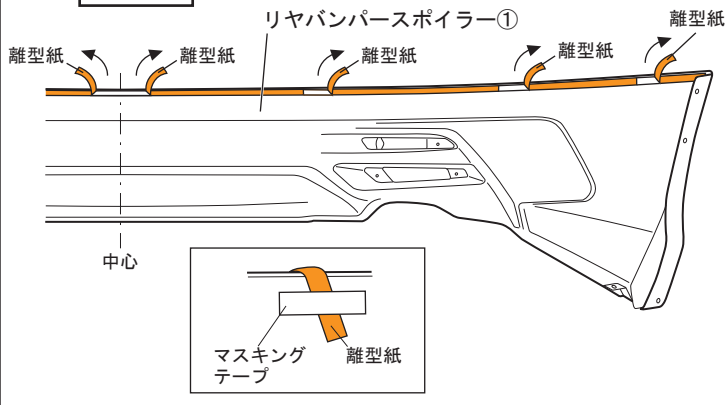
脱脂作業は大変重要な作業です。脱脂作業が不十分な場合、浮き・剥がれ等の症状が発生し脱落などの重大な不具合が発生する可能性があります。

図 21



16. リヤバンパースポイラー①にリフレクターを車両タッピングスクリュー、樹脂ワッシャー⑥で取り付ける。(左右各1箇所)

図 22 裏面視

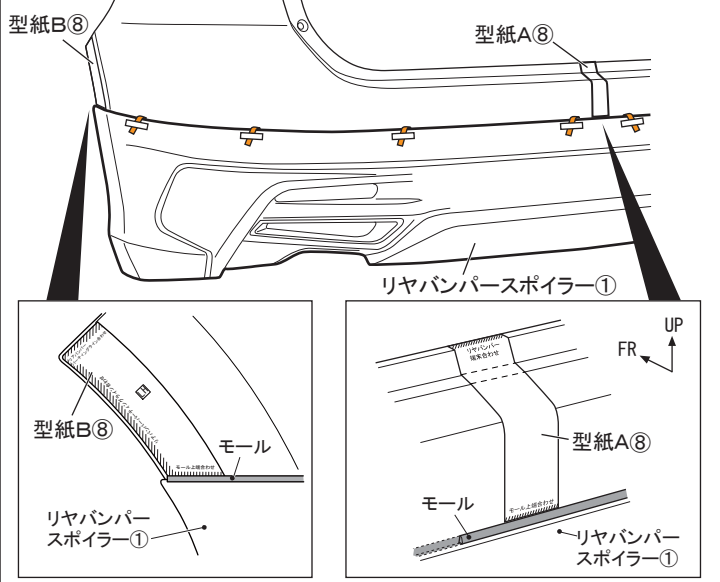


17. 図 22 のようにリヤバンパースポイラー①の両面テープの離型紙を矢印の方向に約30mm剥がしてマスキングテープ等で表側に貼付ける。

△注意：両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めてください。

★リヤフォグガーニッシュ（MS313-48013/14）を取付ける場合は、該当部品の取付・取扱要領書を参照のうえ、リヤバンパースポイラーの穴あけ加工を先に行ってください。

図 23

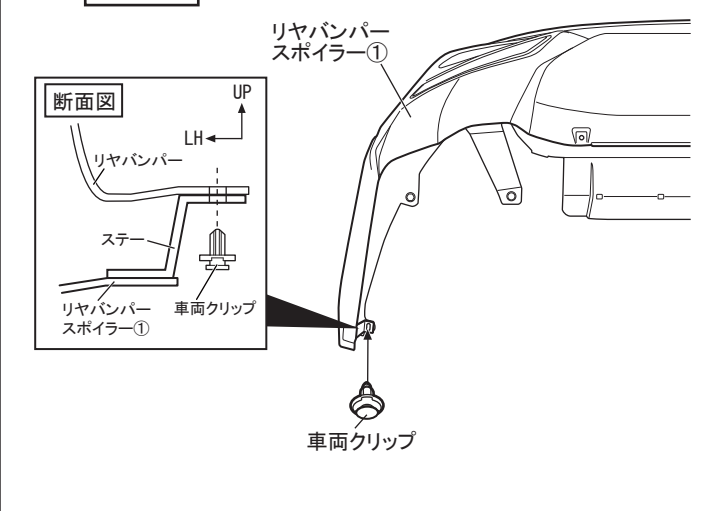


※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

### □リヤバンパースポイラー取付要領

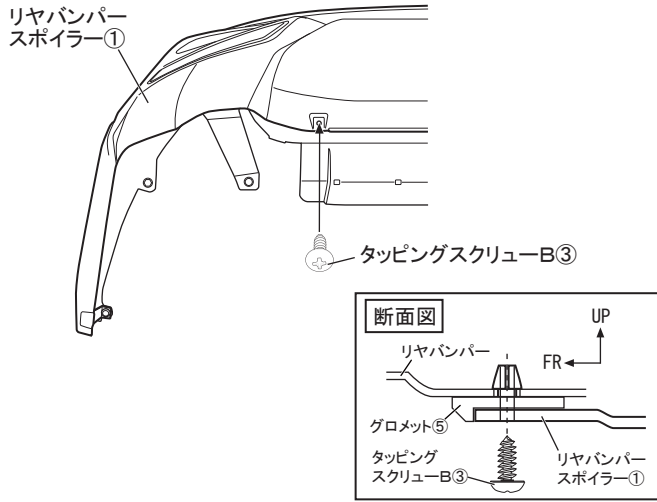
1. 図 23 のように型紙A、B⑧の取り付け高さ位置に合わせてリヤバンパースポイラー①のモール上端を合わせ、リヤバンパーにかぶせる。

図 24 下面視



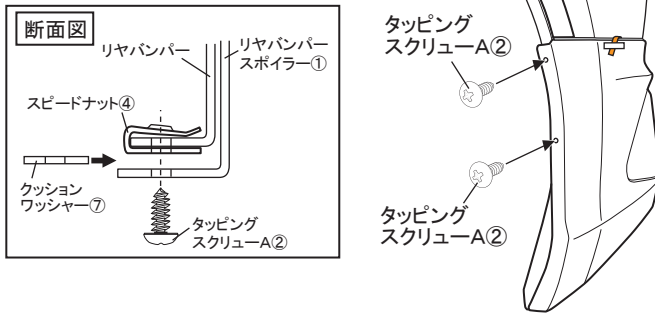
2. 図 24 のようにリヤバンパースポイラー①の下面前方を取付準備2. で取り外した車両クリップで固定する。（左右各1箇所）

図 25 下面視



3. 図 25 のようにリヤバンパースポイラー①の下面中央をタッピングスクリュー B③で仮止めする。(左右各 1 箇所)

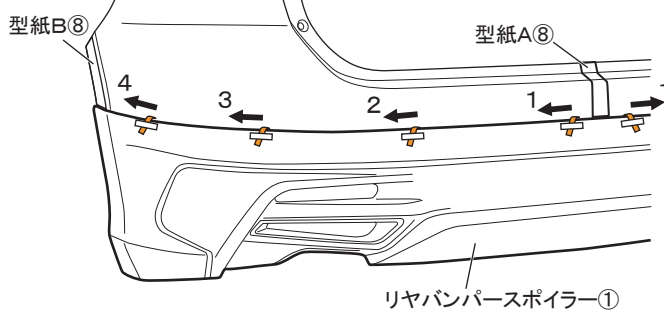
図 26 ホイールハウス部



4. 図 26 のようにリヤバンパースポイラー①のホイールハウス部をタッピングスクリュー A②で仮止めする。(左右各 2 箇所)

△ 注意: ホイールハウス折り返し部に隙間が生じる場合は、クッションワッシャー⑦を使用して調整してください。

図 27



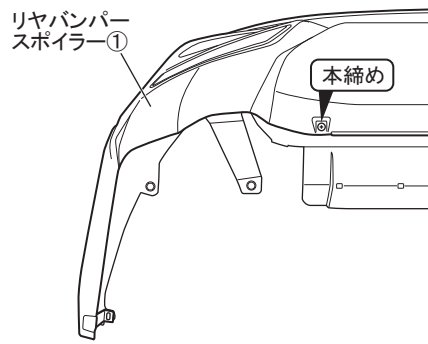
5. 図 27 のように取付位置を確認して両面テープの離型紙を矢印の方向へ左右交互に番号順で剥がしながら貼付け圧着する。

△ 注意: 両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生する恐れがあります。

**アドバイス** 両面テープの接着力は安定するまで 3~5 時間程度必要です。製品の取付け後は、最低 3 時間程度、強い振動や風圧 (車両の移動を含む) が、掛からないようにオープンタイム (静止時間) お取りください。

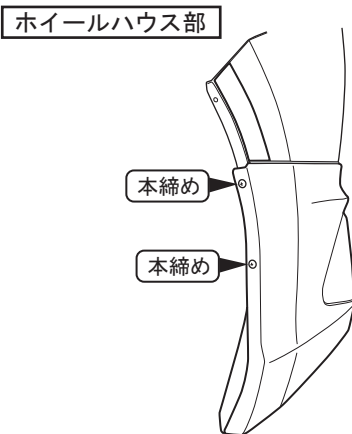
**警告** 両面テープは十分に圧着してください。圧着が不十分な場合、浮き・剥がれ等の症状が発生し脱落などの重大な不具合が発生する可能性があります。両面テープ接着後、24 時間以内は雨・洗車等で接着部に水が掛からないようにしてください。接着力が低下し、剥がれ・脱落等が発生する可能性があります。

図 28



6. 図 28 のようにリアバンパースポイラー①の下面中央のタッピングスクリュー B③を本締めする。(左右各 1箇所)

図 29



7. 図 29 のようにリアバンパースポイラー①のホイールハウス部のタッピングスクリュー A②を本締めする。(左右各 2箇所)

#### ■取付完了後の点検・注意事項

1. 製品全周に渡り、浮き・浮き・剥がれ等、無いことを確認する。
2. 車両及びリアバンパースポイラー廻りに傷が付いていないことを確認する。